

番号	領域	書名	著者名	所属等	発行年月	備考
30	親の会	親の会があったからこそ	加藤 碩	山口県親の会	H 9 . 1 0	4 0 0
<p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 親の会の原点とは「・・・悩みの言い合い、励まし合い、助け合い・・・から」親の会の活動の実際、教室の先生方との関係、行政への働きかけの実際・・・等などが、体験をもとに細かく書き進められています。 巻末には、山口県親の会が実際に県教育委員会に提出した「要望書」などの資料もあります。 詳しくは、目次をご参照ください。 						
<p>目次</p> <p>はじめに</p> <p>1 なぐさめ、ほげまし、助け合っていくこと ~白石親の会の原点~</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 なぐさめ、なぐさめられて 2 悩みの言い合いから、ほげましあい、助け合いに・・・以下略・・・ <p>2 障害への納得できる知識、子供が生きていける見通し</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子育ての見通しをひらくのは、学習 2 子供を見つめる確かな目を育てる 3 教育の制度を学ぶこと <p>3 親の会と先生たち ~おたがいに励ましあい、学びあう関係を育てる~</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幼児期の、先生と親の関係の大切さ 2 子供への理解、認識で一致し、見通しについて共通の結論をもつこと 3 子供が自ら育つ力をつけるように~親と先生のこの点での一致を~・・・以下略 <p>4 障害の違いや程度を問題にせず、助け合うこと、学びあうことを大切に</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全体でまとまって活動することを大切にしてきた・・・ 2 障害の違いや程度をのりこえて連帯できた活動とは・・・ <p>5 行政への働きかけと親の会 ~山口県の経験から~</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ことばの教室の充実をもとめて~二万二千余の請願署名で県政を動かす~ 2 難聴児のためのFM ワイヤレス補聴器の全額補助制度を獲得・・・以下略 <p>6 「通級制」の中での、親の会の新しい役割</p> <p>おわりに</p> <p>ひとこと・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 著者が、お子さんが難聴と診断され落ちこんだ原点から、会のリーダーとして活躍するまでの軌跡をまとめた一冊。実際の親の会活動を進める上で大変参考になります。是非欲しい本です。 <p>このパンフのおすすめ・・・</p> <p>図書館 「親の会活動 28、30」(PDF)でご覧になれます。</p>						
備考						